令和８年１１月

各　　位

静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻

学生募集要項（２０２７年度一般入試第２次募集等）の
公開と請求方法について

本専攻の学生募集要項について、次ページ以降に掲載されていますのでご確認ください。なお、実際の出願にあたっては下記の請求方法により紙媒体の学生募集要項を入手し、要項に綴じ込まれた各種用紙に記入したものを、必要な証明書類等とあわせてご提出願います。

記

＊＊　学生募集要項の請求方法について　＊＊

（１）窓口で請求する場合

学生募集要項は理学部学務係で配付します。

・配布時間：８時３０分～１２時３０分、及び１３時３０分～１７時００分（土日祝日を除く）

（２）郵送で請求する場合

定型封筒（長形又は角形）の表の左下に、「理学専攻（修士課程）学生募集要項請求」と朱書きし、裏面に請求者の郵便番号、住所、氏名を記入の上、次の「返信用封筒」を同封して理学部学務係宛に送付してください。

募集要項は無料ですが、郵送料についてはご負担をお願いします。

「返信用封筒」（本学からの募集要項を送るための封筒）
- 規格：角形２号封筒（33cm×23.5cm）
- 請求者の郵便番号、住所、氏名を明記
- ３２０円分の切手を貼り、折りたたんで大学に送付する封筒に入れてください。

（３）被災者への特別措置

大規模災害で被災された入学志願者の方については、以下のURLのとおり特別措置を講じます。詳細については「（４）担当窓口及び請求先」までお問い合わせください。

【特別措置】https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/

（４）担当窓口及び請求先

〒４２２－８５２９　静岡市駿河区大谷８３６

静岡大学理学部学務係

〔電話〕０５４－２３８－４８６１

〔メール〕ri-gakumu@adb.shizuoka.ac.jp

静岡大学大学院総合科学技術研究科
理学専攻（修士課程）

学 生 募 集 要 項

２０２７年度

学部３年次学生を対象とする入試
（飛び入学）

静　岡　大　学

目　　次

◎静岡大学の理念と目標‥‥‥

静岡大学の理念と目標

理念「自由啓発・未来創成」

この理念は、教育だけでなく、なにごとにもとらわれない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれるべきものです。静岡大学の学生・教職員は、このような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として、「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げ、共に手を携えて地域の課題、さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くします。

静岡大学は、以上のような意味での「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

詳しくは　https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/　を参照ください。

総合科学技術研究科のアドミッション・ポリシー

【育てる人間像】

進展するグローバル化社会のなかで、社会的ニーズや科学技術の課題の解決のために、個別の専門分野を越えて柔軟に対応することができ、研究・開発や企業の海外展開における国際交流に貢献できる理工系人材の育成を目指します。また博士課程でのより高度な研究に取り組むことのできる人材の育成を目指します。

【目指す教育】

個別的な専門的基礎の上に立って、関連する専攻や自らの有する知識の社会的位置づけをも含めた、より広い融合的な学際分野について俯瞰する能力、外国語で自らの専門分野及び関連する諸分野について理解し、発表し、議論することのできる国際的な対応能力、および博士課程でのより高度な自立的研究の基礎となる能力を修得させます。

【求める学生像】

現在の様々な社会的・科学技術的な諸問題に対して強い関心があり、研究や科学技術の発展を通じて社会に貢献する強い意欲を持っている学生を求めます。さらに国際的な感覚を有し、海外の学生や研究者と協働して学習および研究や開発を遂行できる学生を求めます。

【入学に必要とされる資質・能力】

学士課程の個別的な専門分野で形成されるべき基礎的な知識と能力が必要です。またこれらの知識と能力を応用できる思考力、判断力および表現力が必要です。さらに国際的なコミュニケーション能力と共に、多様な人々と協働して学ぶことのできる意欲が必要です。

理学専攻のアドミッション・ポリシー

【育てる人間像】

本専攻は、高度な科学技術社会の中で、基礎科学に基づき、さまざまの基礎ならびに応用分野における問題解決能力を有する人材の育成を目指します。人類のより豊かな繁栄のために、真理を探究する理学の精神が求められています。その実現に向けて、幅広い視野を涵養するとともに、それぞれの専門分野で高度な教育研究を行います。理学の教育と研究は、グローバル化をふくめ社会の多様なニーズに応えるための洞察力、適応力、行動力を養うことを目的とし

て、物事の本質的な理解と独創力に支えられた教育研究を主眼としています。これらによって、国際的に活躍できる高度な技術職や研究職等に必要な深い学識を身につけた人材の育成を目指します。

【目指す教育】
1　幅広い視野とともに、高度な専門知識と独創的な研究能力を持つ人材の育成を目指します。
2　特論、演習、特別研究の有機的な関連を重視し、複数の指導教員によるきめ細かい教育・研究の指導を行います。
3　基本原理を重視した教育及び全専攻にわたる共通科目と英語科目等によって、学際的分野について俯瞰する能力ならびに国際的な対応能力を養い、個々の専門的問題の解決能力を高める教育を行います。

【求める学生像】
グローバル化をふくめ多様化する現代社会の持つ諸問題に対して強い関心を抱き、専門に偏らない幅広い視野で物事を考えることのできる意欲ある学生を求めています。特に理学的な現象に対し、それらの基本原理に根ざした深い探究心を持つ学生を求めています。

【入学に必要とされる資質・能力】
本専攻が行う入学者選抜試験は、受験者が理学に関する基礎知識と論理的思考力に加え、理学的な現象に対し、それらの基本原理に根ざした深い探究心を有しているかを判断するために行われます。一般入試および外国人留学生入試では、各専門分野に関する基礎知識と論理的思考力および英文の読解力と英語による表現力を判断する筆記試験等に加え、学問・研究に対する態度を判断する口述試験を課しています。また自己推薦型入試では、出願書類の審査による基本的資質・能力の判定に加え、各専門分野に関する深い関心と熱意など学問・研究に対する積極的な態度を面接試験により評価します。

【入学者選抜の基本方針】
《一般入試・外国人留学生入試・学部３年次学生を対象とする入試》
［数学コース］
解析学、代数学、幾何学、数理論理学などの数学の基礎知識を活かして、さらに高度な数学的素養を身につけ、数学の研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を育成します。そのための能力・学力・適性などを次の試験で総合的に判断します。
(1) 筆記試験
専 門： 数学に関する基礎学力、論理的思考力および表現力を判断します。また、一部の問題は英語で出題され、英語を理解し英語で解答が記述できる能力を評価します。
(2) 口述試験
筆記試験では判断できない数学の基礎学力、論理的思考力、表現力などを判断します。この他、志望動機、将来の目標、意欲・熱意など学習・研究に対する態度も評価します。

［物理学コース］
力学、電磁気学、量子力学、統計力学などの物理学の基礎知識を活かして、さらに高度な物理的素養を身につけると同時に、具体的な物理的課題に取り組み解決していく能力を養うことにより、物理的研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を養成します。そのための能力・学力・適性などを、次の試験において判断します。
(1) 筆記試験
専 門：本コースにおいて、学習・研究するために必要な基礎学力を判断します。
(2) 英語
英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。
(3) 口述試験

筆記試験では判断できない、物理学の理解度や本コースにおける研究に対する適性などを総合的に判断します。

［化学コース］

物理化学、無機化学、有機化学、生物化学、放射化学などの化学の基礎知識を活かして、さらに高度な化学的素養を身につけると同時に、具体的な化学的課題に取り組み解決していく能力を養うことにより、化学的研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を養成します。そのための能力・学力・適性などを、次の試験において判断します。

(1) 筆記試験

専 門：化学に関する基礎学力及び志望する研究分野の専門的学力などを総合的に判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

志望動機や将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎学力、論理的思考力、表現力などを判断します。

［生物科学コース］

生物科学の諸問題に対してマクロな視点でとらえつつ、ミクロな細胞・遺伝子レベルでも専門的に対応できる応用力豊かな人材を育成することを目標とし、修士課程で行う研究を遂行するに足る、興味と動機、基礎学力、研究上の能力などを、次の各試験を通じて総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門：本コースにおいて、研究を行うための基本となる、専門基礎知識と論理的思考力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

受験者が学部等において行ってきた研究内容に関する質疑応答を行い、研究についての基礎知識、理解度、論理的思考能力、表現力、考察力及び討論する力を判断します。この他、将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度もあわせて評価します。

［地球科学コース］

地球科学及び環境科学の諸問題に専門的立場から対応できる人材を育成することを目標とし、修士課程で行う研究を遂行するに足る、興味と動機、基礎学力、研究上の能力などを、次の各試験を通じて総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門：本コースにおいて、研究を行うための基本となる、専門基礎知識と論理的思考力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

受験者が学部等において行ってきた研究内容に関する質疑応答を行い、研究についての基礎知識、理解度、論理的思考能力、表現力、考察力及び討論する力を判断します。

この他、将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度もあわせて評価します。

理学専攻（修士課程）コース別募集人員

学部３年次学生を対象とする入試（飛び入学）

コ　ー　ス	教育研究分野		募集人員
数　　学	基礎数理 数理解析		若干名
物　理　学	素粒子・宇宙物理学 基礎物理学 物性物理学		若干名
化　　学	物理化学 無機化学 有機化学	生物化学 放射化学	若干名
生 物 科 学	環境応答学 生体調節学 細胞・発生プログラム学		若干名
地 球 科 学	地球ダイナミクス 生物環境科学		若干名

物理学、化学、生物科学及び地球科学の各コースでは、コース横断的に放射科学教育プログラムが展開されます。概要は２１頁を参照してください。

学部３年次学生を対象とする入試（飛び入学）

【２０２７年4月入学】

１　出願資格

（1）２０２７年３月までに大学に３年以上在学（休学期間を除く）する見込みの者であって、本専攻において、所定の単位を優秀な成績をもって修得する見込みがあると認めたもの

（2）２０２７年３月までに外国において学校教育における１５年の課程を修了見込みの者であって、本専攻において、所定の単位を優秀な成績をもって修得する見込みがあると認めたもの

（3）２０２７年３月までに外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１５年の課程を修了見込みの者であって、本専攻において、所定の単位を優秀な成績で修得する見込みがあると認めたもの

（4）２０２７年３月までに我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１５年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了見込みの者であって、本専攻において、所定の単位を優秀な成績で修得する見込みがあると認めたもの

※　２０２７年３月に卒業見込みの者及び既卒業者については該当しません。

※　飛び入学で大学院に入学した場合、現行の制度上大学学部は退学となりますので、ご留意ください。ただし、大学院入学後の修了年数及び修得単位をもとに学位授与機構に申請し、審査及び試験によって学士の学位を取得することは可能です。

２　コース別募集人員及び試験科目

コース	募集人員	教育研究分野	試　験　科　目
数　　学	若干名	基礎数理 数理解析	筆記試験 専門（数学） ＊筆記試験（専門）の一部に英語で出題し英語で解答を求める問題があります。 口述試験
物 理 学	若干名	素粒子・宇宙物理学 基礎物理学 物性物理学	筆記試験 専門（物理学） 英語 TOEIC テスト等の英語外部試験のスコアによる評価を行います。 口述試験
化　　学	若干名	物理化学 無機化学 有機化学 生物化学 放射化学	筆記試験 専門（化学） 英語 TOEIC テスト等の英語外部試験のスコアによる評価を行います。 口述試験
生物科学	若干名	環境応答学 生体調節学 細胞・発生プログラム学	筆記試験 専門（生物科学） 英語 TOEIC テスト等の英語外部試験のスコアによる評価を行います。 口述試験
地球科学	若干名	地球ダイナミクス 生物環境科学	筆記試験 専門（地球科学） 英語 TOEIC テスト等の英語外部試験のスコアによる評価を行います。 口述試験

３　研究指導担当教員の選定について

出願に当たっては、『理学専攻コース概要（１４、１５頁)』及び『理学専攻コース紹介（１６～２０頁)』を参照し、自分の希望に沿った志望教育研究分野及び志望教育研究項目を決定してください。

なお、出願前に志望する教員に必ず連絡を取り、研究テーマ等について相談すること。

教員の連絡先は、理学部 Web サイト〈https://www.sci.shizuoka.ac.jp/about/staffs222〉で確認してください。連絡先が確認できない場合は、１１頁の「問合せ先」に照会してください。

４　出願資格認定基準

筆記試験・口述試験等に合格した後、２０２７年３月までに学業成績が下記の各要件を満たした者を最終的な合格者とします。「５ 事前審査」においては、これらの要件を満たす見込みがあるか等について審査します。

（１）静岡大学理学部生については、以下の条件を満たすこと。

① ３年次までの必修科目をすべて修得していること。

② ３年次終了時において、卒業に必要となる単位数から４年次必修の単位数を除いた単位数の 95%以上を修得していること。

③ 履修した全科目の単位数の 85%以上が「秀」または「優」の成績であること。

（２）静岡大学理学部生以外については、上記の基準に準ずる。

５　事前審査

出願希望者は、次の書類を２０２６年１２月８日（火）１６時までに「７ 願書提出先」へ提出してください。また、面接を必要とする者には改めて通知します。

事前審査申請書	下記 URL に掲載の様式をＡ４用紙に印刷して必要事項を記入。 https://www.sci.shizuoka.ac.jp/exam/gr_exam
推　薦　書 (任意提出資料)	在籍する大学等が作成したもの。(様式自由)
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
在学証明書	２０２６年１０月以降に出身大学長又は学部長が作成したもので、在籍学年が分かるもの。本学の理学部に在籍中の者は提出不要です。
履修要項等	出身大学が作成した卒業に必要な授業科目・単位数が明記された書類。本学の理学部に在籍中の者は提出不要です。
返信用封筒	長形３号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、１１０円切手を貼付したもの。(事前審査結果通知用。海外への送付を希望する場合は郵送料を理学部学務係に確認してください。)

※事前審査結果は、２０２６年１２月１８日（金）までに申請者宛に郵送します。事前審査合格者は、「６ 願書受付期間」、「８ 出願書類等」により出願手続きを行ってください。

６　願書受付期間

２０２７年1月４日（月）～２０２７年1月７日（木）

（窓口の受付時間は、９時から１２時３０分及び１３時３０分から１６時の間です。

郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書（飛び入学）在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合は２０２７年1月７日（木）１６時必着とします。

７　願書提出先

〒422－8529　静岡市駿河区大谷８３６

静岡大学理学部学務係　　TEL（０５４）２３８－４８６１

８　出願書類等

入　学　願　書	本専攻所定の用紙に必要事項を記入してください。
入 学 検 定 料 ３０，０００円	同封の「払込取扱票」により、郵便局の受付窓口で払込んでください。 ※払込後の返還は「18 出願に関する注意事項」を参照してください。
振替払込受付証明書 （入学検定料受付証明書）	本専攻所定の用紙に必要事項を記入のうえ証明書を貼付したもの。
返 信 用 封 筒	本専攻所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、１１０円切手を貼付したもの。（受験票送付用）
あ　て　名　票	本専攻所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記してください。 （合格通知書・入学手続案内送付用）
英語外部試験の 成績証明書類の写し	数学コース以外のコースに出願する者は、以下の３つの英語外部試験のいずれかひとつの成績証明書類を、Ａ４サイズの用紙にコピーして提出してください。（TOEIC でテスト結果のみが表示された Web 画面を印刷したものは不可） なお、TOEIC L&R については、２０２３年４月１日以降に受験したもの（所属団体・大学のＩＰテストを含む）を、それ以外の外部試験については２０２３年８月１日以降に受験したものを有効とします。 ・TOEIC L&R（IP テストも可） ・TOEFL iBT ・IELTS（Academic Module） ※英語外部試験の成績証明書類は、試験実施団体が発行したスコアシートや証明書（Certificate）など、受験者の氏名、日付、得点が記載されたものを指しています。 ※成績証明書類については、口述試験時に原本を確認しますので、受験時に必ず持参してください。（TOEFL iBT の場合は、「Test Taker Score Report：受験者用控えスコアレポート」の郵送版を持参してください。TOEFL iBT の MyBest スコアは使用できません。） ※TOEIC L&R を受験してデジタル公式認定証の発行を受けた場合は、原本証明用 QR コードが表示された PDF 版スコアシートを印刷して出願時に提出すれば、口述試験時の原本持参は省略できます。

９　選抜方針

《数学コース》

解析学、代数学、幾何学、数理論理学などの数学の基礎知識を活かして、さらに高度な数学的素養を身につけ、数学の研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を育成します。そのための能力・学力・適性などを次の試験で総合的に判断します。

（１）筆記試験

専　門：数学に関する基礎学力、論理的思考力および表現力を判断します。また、一部の問題は英語で出題され、英語を理解し英語で解答が記述できる能力を評価します。

（２）口述試験

筆記試験では判断できない数学の基礎学力、論理的思考力、表現力などを判断します。この他、志望動機、将来の目標、意欲・熱意など学習・研究に対する態度も評価します。

《物理学コース》

力学、電磁気学、量子力学、統計力学などの物理学の基礎知識を活かして、さらに高度な物理的素養を身につけると同時に、具体的な物理的課題に取り組み解決していく能力を養うことにより、物理的研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を養成

します。そのための能力・学力・適性などを、次の試験において判断します。
（1）筆記試験
専　門：本コースにおいて、学習・研究するために必要な基礎学力を判断します。
（2）英語
英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。
（3）口述試験
筆記試験では判断できない、物理学の理解度や本コースにおける研究に対する適性などを総合的に判断します。

《化学コース》
物理化学、無機化学、有機化学、生物化学、放射化学などの化学の基礎知識を活かして、さらに高度な化学的素養を身につけると同時に、具体的な化学的課題に取り組み解決していく能力を養うことにより、化学的研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を養成します。そのための能力・学力・適性などを、次の試験において判断します。
（1）筆記試験
専　門：化学に関する基礎学力及び志望する研究分野の専門的学力などを総合的に判断します。
（2）英語
英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。
（3）口述試験
志望動機や将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎学力、論理的思考力、表現力などを判断します。

《生物科学コース》
生物科学の諸問題に対してマクロな視点でとらえつつ、ミクロな細胞・遺伝子レベルでも専門的に対応できる応用力豊かな人材を育成することを目標とし、修士課程で行う研究を遂行するに足る、興味と動機、基礎学力、研究上の能力などを、次の各試験を通じて総合的に判断します。
（1）筆記試験
専　門：本コースにおいて、研究を行うための基本となる、専門基礎知識と論理的思考力を判断します。
（2）英語
英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。
（3）口述試験
受験者が学部等において行ってきた研究内容に関する質疑応答を行い、研究についての基礎知識、理解度、論理的思考能力、表現力、考察力及び討論する力を判断します。
この他、将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度もあわせて評価します。

《地球科学コース》
地球科学及び環境科学の諸問題に専門的立場から対応できる人材を育成することを目標とし、修士課程で行う研究を遂行するに足る、興味と動機、基礎学力、研究上の能力などを、次の各試験を通じて総合的に判断します。
（1）筆記試験
専　門：本コースにおいて、研究を行うための基本となる専門基礎知識と論理的思考力を判断します。

（２）英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

（３）口述試験

受験者が学部等において行ってきた研究内容に関する質疑応答を行い、研究についての基礎知識、理解度、論理的思考能力、表現力、考察力及び討論する力を判断します。

この他、将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度もあわせて評価します。

１０　選抜方法

（１）各試験の配点は以下のとおりとします。

コース名	筆記試験	口述試験	英　語
数　　学	専門（100 点）	口述（200 点）	
物 理 学	専門（100 点）	口述（100 点）	英語外部試験の結果は、CEFR の定める換算表を参考に 50 点満点の得点に換算して審査します。
化　　学	専門（100 点）	口述（100 点）	
生物科学	専門（100 点）	口述（100 点）	
地球科学	専門（100 点）	口述（100 点）	

（２）各試験の合計点により順位付けを行い、コースごとに高得点の者から順に合格とします。

１１　試験日時及び試験場

《筆記試験》

（１）試験日時：２０２７年1月２１日（木）

◇　数学・生物科学コース　　：９時００分～１２時００分

◇　物理学・化学・地球科学コース：９時００分～１１時００分

（２）試験場：静岡大学理学部（静岡市駿河区大谷８３６）

※集合時刻及び集合場所等の詳細は、受験票と共に送付される案内文書で通知します。

《口述試験》

（１）試験日時：２０２７年1月２１日（木）１３時００分～

（２）試験場：静岡大学理学部（静岡市駿河区大谷８３６）

※集合時刻及び集合場所等の詳細は、受験票と共に送付する案内文書で通知します。

１２　各試験の受験方法

《筆記試験》

（１）数学コースの筆記試験の問題は、微分積分、線形代数、位相空間等に関する４つの問題からなり、そのうちの１つは、英語を理解し英語で解答する問題です。

（２）化学コースの筆記試験においては、「有機化学」「無機化学」「物理化学」「生物化学」「放射化学」の５問から、２問を選択して解答してもらいます。

《口述試験》

（１）数学コース以外の受験者は、口述試験時に**英語外部試験の成績証明書類の原本を確認するので、必ず持参してください。**（TOEIC L&R のデジタル公式認定証を提出した場合は不要）

（２）生物科学コースを志望する受験者は、口述試験の時に約６分間で、Ａ４用紙（横向きレイアウト）５枚以内にまとめたプリントを使用しながら卒業研究等の発表をしてもらいます。発表は教材提示装置でプリントをスクリーンに投影して行います（Ａ４用紙１枚で１画面）ので、プリントを準備して必ずお持ちください。

（３）地球科学コースを志望する受験者は、口述試験の時に１０分以内で卒業研究等の発表をしてもらいますのでパワーポイント等を用いて準備をしておいてください。

13　最終審査有資格者の発表

筆記試験と口述試験の合格者は『最終審査有資格者』として、２０２７年1月２９日（金）の正午頃に、理学部 Web サイト（https://www.sci.shizuoka.ac.jp/）で発表します。

14　最終審査

『最終審査有資格者』は、２０２７年2月２６日（金）までに学業成績証明書（３年次後学期分の成績を含む。）を提出してください。

学業成績が「４ 出願資格認定基準」の各要件を満たしているか、最終審査を行います。

15　合格発表

最終審査の結果は、２０２７年3月３日（水）の正午頃、理学部 Web サイト（https://www.sci.shizuoka.ac.jp/）に掲載するとともに、合格者には郵送で通知します。

16　入学手続

２０２７年3月中旬までに行う予定です。入学手続の詳細な案内（入学料･授業料の免除申請方法等を含む。）については、最終審査の結果とともに合格者に郵送します。

17　入学料及び授業料

◆　入学料　　２８２，０００円《２０２６年度実績額》

◆　授業料　年額　５３５，８００円（半期分２６７，９００円）《２０２６年度実績額》

《注》

①　前期分の授業料は、２０２７年4月１日（木）から同年４月３０日（金）までに納入してください。

②　入学手続き時に納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。

③　本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

④　在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

18　出願に関する注意事項

（1）出願後、提出書類の内容変更は認められません。

（2）出願に際して記入した事項及び提出した書類については、すべて事実に基づき正確に記載・作成してください。虚偽の記載，改ざん又は不正が判明した場合は、出願の受理後または入学試験実施後であっても、合格や入学許可の取消し等の措置を講ずることがあります。

（3）一度納入した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

①　検定料の返還請求ができる場合

ア　検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合

イ　検定料を誤って二重に払い込んだ場合

ウ　出願書類、出願要件に不備があり、出願が受理されなかった場合

②　返還する検定料の金額

志願者本人の申し出により二重払い込み分又は全額を返還します。

③　検定料返還請求の方法

上記のア又はイに該当する場合は、便せん等を使って、次の１～８を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書)」又は「払込金受領証」を添付して、２０２７年1月２５日（月）〔必着〕までに静岡大学理学部学務係（〒422-8529 静岡市駿河区大谷８３６）へ郵送してください。

ウの場合は出願書類返却時に、「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

1　返還請求の理由
2　入試区分（学部３年次学生を対象とする入試）
3　出願しようとした大学院研究科専攻コース名
4　氏名（フリガナ）
5　現住所（フリガナ）
6　連絡先電話番号
7　返還請求額
8　返還金振込先　・金融機関名（金融機関コード）、支店名（支店コード）
・預金種別（当座・普通）、口座番号
・口座名義人（フリガナ）
・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

■　大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除します。

詳しくは、静岡大学学部入試専用サイト
〈https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/〉をご覧ください。

（4）合格者のうち現在在職中の者及び２０２７年４月から就職予定の者は、入学手続きの際、その所属長の『就学承諾書』を必要とするので、あらかじめ準備しておいてください。

（5）募集要項の請求又は入学試験に関する照会は、下記の「問合せ先」に行ってください。なお、募集要項を郵送により請求する場合は、封筒の表面に「修士課程理学専攻募集要項請求」と朱書きし、宛先を明記した返信用封筒（角形２号：３３㎝×２４㎝に、３２０円切手を貼付したもの。）を同封してください。

《 問合せ先 》

静岡大学理学部学務係
〒422－8529　静岡市駿河区大谷８３６
TEL（０５４）２３８－４８６１

１９　受験に関する注意事項

（1）筆記試験及び口述試験の際には、必ず受験票を携帯してください。
受験票は入学手続きの際も必要になりますので、紛失しないように注意してください。

（2）次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験を停止し、試験を無効とします。
ア 出願書類や試験上の書類への虚偽の記載や改ざん、または虚偽の申告をすること
イ カンニングおよびカンニングの手助け
ウ 監督者等の指示に従わないこと
エ 試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

（3）試験時間中に使用することが認められていない物、又は身に付けることを禁止している物品を所持又は使用した場合、若しくは試験時間中に当該物品が発見された場合には、不正行為とみなすことがあります。

（4）提出書類又は試験に関して不正行為等疑義が生じた場合には、本学は必要に応じて追加的な確認を行うことがあります。また、悪質な不正行為等が認められた場合には、関係機関への通報又は警察への被害届の提出等、法的措置を講ずる場合があります。

入学試験情報の提供

本専攻では、入学試験に関して、以下のとおり情報を提供しています。

（１）インターネット

募集要項等は理学部Webサイトに掲載しています。

〔URL〕https://www.sci.shizuoka.ac.jp/

（２）入試成績情報の開示

静岡大学大学院には、入試情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を、２０２７年４月１５日（木）から２０２７年５月１７日（月）の間に受け付けます。詳細は、本学学務部入試課まで問い合わせてください。

《学務部入試課》

TEL（０５４）２３８－４４６４

〒422－8529　静岡市駿河区大谷８３６

（３）試験問題の閲覧

大学院の過去問題については、入試情報閲覧室（静岡キャンパス共通教育Ａ棟４階）及び理学部学務係で閲覧をすることができます。

また、各コースの過去問については、以下のWebサイトでも非公開の部分を除き閲覧することが可能です。

〔URL〕https://www.sci.shizuoka.ac.jp/exam/gr_exam/past_question

個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

（１）出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続き業務、④入学者選抜方法及び大学院教育改善のための調査・研究を行うために利用します。

（２）入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収、 ④入学者選抜方法及び大学院教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。

長期履修学生制度について

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限（修士課程では２年間）で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて修士課程においては４年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳しい内容については、理学部学務係までお問い合わせください。

障害等のある入学志願者への受験上の配慮について

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、出願する前に本研究科と相談する必要がありますので、下記により申請して下さい。

相談の結果は決定次第、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申請期限	原則として出願期限日の１か月前まで
申請の方法	『大学院受験上の配慮申請書』に、『障害者手帳』の写し又は医師の『診断書』を添えて申請して下さい。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連絡先	〒422-8529　静岡市駿河区大谷８３６ 静岡大学理学部学務係 TEL　０５４－２３８－４８６１ FAX　０５４－２３７－９８９５

【注】

① 郵便による照会及び『大学院受験上の配慮申請書』の用紙を請求する場合は、１１０円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形３号：23.5cm×12cm)』を同封のうえ、上記連絡先まで送付して下さい。

② 電話による照会及び『大学院受験上の配慮申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けませんので注意して下さい。

安全保障輸出管理について

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集 https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.html

第２章 組織・運営＞静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

［和文ページ］　https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html

［ENGLISH PAGE］https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html

理学専攻コース概要（教育研究項目）

注1：出願に先立って、必ず研究指導担当教員に問い合わせること。
注2：教員欄の①印は2028年3月31日退職予定、②印は2029年3月31日退職予定、
　　＊印は、放射科学教育プログラム担当教員
注3：表に掲載されていない教員は受け入れを行いません。

コース	教員			教育研究分野	教育研究項目	
数学	M 1	教授	毛利　出	基礎数理	代数学（非可換代数幾何学）	M 1
	M 2	教授	依岡輝幸		数理論理学（公理的集合論）	M 2
	M 3	准教授	保坂哲也		幾何学（幾何学的群論）	M 3
	M 4	准教授	木村杏子		代数学（組合せ論的可換環論）	M 4
	M 5	准教授	四ッ谷直仁		複素幾何学（ケーラー幾何学）	M 5
	M 6	講師	PARENTE Francesco		数理論理学	M 6
	M 7	准教授	足立真訓	数理解析	複素解析学（複素解析幾何学）	M 7
	M 8	准教授	岡村和樹		確率論（確率過程論）	M 8
物理学	P 1	教授	土屋麻人	素粒子・宇宙物理学	素粒子論	P 1
	P 2	教授	森田　健		素粒子論	P 2
	P 3	准教授	内山秀樹		X線天文学	P 3
	P 4	講師	難波　亮		宇宙論	P 4
	P 5	教授	松本正茂	基礎物理学	物性理論	P 5
	P 6	教授	古賀幹人		物性理論（強相関電子系）	P 6
	P 7	准教授	弓削達郎		非平衡物理学	P 7
	P 8	講師	POHLE Rico		量子多体系の理論研究	P 8
	P 9	教授	海老原孝雄	物性物理学	強相関電子系の物性（磁性と伝導・超伝導）	P 9
	P 10	教授	岡　俊彦		ソフトマター物理学・生物物理学	P 10
	P 11	教授	阪東一毅		半導体光物性	P 11
	P 12	教授	清水康弘		磁気共鳴	P 12
	P 13	講師	野村肇宏		固体物性（磁性・誘電物性）	P 13
	P 14	講師	廣部大地		スピントロニクスの基礎物理	P 14
化学	C 1	教授	岡林利明	物理化学	分子分光学・構造化学	C 1
	C 2	准教授	河合信之輔		物理化学・反応動力学	C 2
	C 3	准教授	松本剛昭		クラスター科学・レーザー分光学	C 3
	C 4	教授	近藤　満	無機化学	機能性金属錯体の合成	C 4
	C 5	教授	加藤知香		無機化学・触媒化学	C 5
	C 6	准教授	守谷　誠		錯体化学・分子イオニクス	C 6
	C 7	講師	仁科直子		錯体化学・有機金属化学	C 7
	C 8	教授	塚田直史	有機化学	有機合成化学・金属錯体触媒	C 8
	C 9	准教授	関　朋宏		有機機能性材料化学	C 9
	C 10	准教授	大吉崇文	生物科学	核酸化学・生物化学	C 10
	C 11	准教授	＊大矢恭久	放射化学	ベータ放射体の化学，核エネルギーシステムの化学	C 11
	C 12	准教授	＊近田拓未		先進エネルギー材料化学，水素同位体の化学	C 12

コース	教員			教育研究分野	教育研究項目	
生物科学	B 1	教授	栗井 光一郎	環境応答学	光合成生物の脂質分子生理学	B 1
	B 2	教授	木嵜 暁子		植物分子生物学	B 2
	B 3	教授	徳岡 徹		分子系統学, 形態学	B 3
	B 4	准教授	天野 豊己		植物におけるタンパク質工学	B 4
	B 5	助教	須崎 大地		植物生殖発生学, 細胞生物学	B 5
	B 6	教授	鈴木 雅一	生体調節学	環境適応, 内分泌系, 系統発生	B 6
	B 7	教授	日下部 誠		浸透圧調節, 比較内分泌学	B 7
	B 8	教授	石原 顕紀		分子生物学, バイオインフォマティクス	B 8
	B 9	教授	岡田 令子		動物生理・生化学	B 9
	B 10	助教	伊藤 舜		進化生態学, 島嶼生物学, 貝類学	B 10
	B 11	教授	徳元 俊伸	細胞・発生プログラム学	生殖生物学	B 11
	B 12	教授	道羅 英夫		共生の分子細胞生物学	B 12
	B 13	准教授	雪田 聡		器官・組織形成, 細胞分化	B 13
	B 14	准教授	小池 亨		細胞分化・組織形成機構, 発生生物学	B 14
	B 15	講師	後藤 寛貴		進化発生学, 形態形成, 昆虫科学	B 15
地球科学	G 1	教授	石橋 秀巳	地球ダイナミクス	岩石学・火山学	G 1
	G 2	教授	生田 領野		地震学・測地学・固体地球物理学	G 2
	G 3	教授	②川本 竜彦		水とマグマ・海水マントル相互作用・海水組成変化	G 3
	G 4	教授	平内 健一		構造地質学・実験岩石学	G 4
	G 5	准教授	田阪 美樹		岩石鉱物物理, 実験岩石学	G 5
	G 6	准教授	三井 雄太		固体地球物理学	G 6
	G 7	教授	①北村 晃寿	生物環境科学	古環境学	G 7
	G 8	教授	佐藤 慎一		古生態学	G 8
	G 9	教授	木村 浩之		地球微生物学・環境ジェノミクス	G 9
	G 10	准教授	宗林 留美		生物海洋化学	G 10
	G 11	准教授	鈴木 雄太郎		進化古生物学・機能形態学	G 11
	G 12	准教授	DUR Gaël		プランクトンの生態学	G 12
	G 13	准教授	久保 篤史		生物地球化学	G 13
	G 14	講師	LEGRAND Julien		古植物学・古花粉学	G 14

理学専攻コース紹介（主要研究内容）

注１：<u>出願に先立って、必ず研究指導担当教員に問い合わせること。</u>
注２：氏名欄の①印は２０２８年３月３１日退職予定、②印は２０２９年３月３１日退職予定、
　　＊は、放射科学教育プログラム担当教員
注３：表に掲載されていない教員は受け入れを行いません。
注４：下表は現時点での研究内容になります。

【数 学 コ ー ス】

基礎数理

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
毛　利　　出	教　授	非可換代数幾何学。特に非可換代数曲面の分類、非可換スキーム上での交叉理論、量子射影空間・量子線織曲面の研究。
依　岡　輝　幸	教　授	数理論理学。P(ω)/fin 上の組合せ論、測度論およびベールのカテゴリーなどの実数上のイデアルの組合せ論、強制法理論。
保　坂　哲　也	准教授	幾何学的群論の研究。特に、群作用のあるCAT(0)空間とその境界の研究、およびCoxeter群とCAT(0)空間の研究。
木　村　杏　子	准教授	スタンレー・ライスナーイデアルの研究。特に、算術階数や極小自由分解に関する研究。
四ッ谷　直　仁	准教授	ケーラー多様体上の標準計量問題と幾何学的不変式論安定性条件に関する研究
PARENTE Francesco	講　師	集合論とモデル理論との相互作用

数理解析

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
足　立　真　訓	准教授	複素解析幾何学。特に、複素多様体内の弱擬凸領域における複素関数論。
岡　村　和　樹	准教授	確率論。特に、複雑な媒質上での確率過程の研究。また、分布の諸性質に関する研究。

【物 理 学 コ ー ス】

素粒子・宇宙物理学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
土　屋　麻　人	教　授	超弦理論および場の量子論。特に行列模型による超弦理論の非摂動的定式化、ゲージ重力対応、非可換幾何学、量子重力理論。
森　田　　健	教　授	素粒子論。特に超弦理論、ゲージ理論、及びブラックホールの研究。
内　山　秀　樹	准教授	人工衛星を使った観測的宇宙物理学（X線天文学）、衛星搭載X線検出器の開発とそれを応用した物理教材の研究。
難　波　　亮	講　師	宇宙論および曲がった時空上の場の理論。特に初期宇宙論、暗黒物質・エネルギー、重力理論、ブラックホール摂動に関する理論研究。

基礎物理学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
松　本　正　茂	教　授	物性理論。特に磁性を中心とした研究。
古　賀　幹　人	教　授	物性理論。特に強相関電子系を中心とし、電子のスピンや軌道自由度が絡み合う固体物性の研究。
弓　削　達　郎	准教授	非平衡物理学。非平衡性と多体効果の競合・協奏による現象の研究。量子マスター方程式や分子動力学法を計算手法として用いる。
POHLE Rico	講　師	物性物理学における理論研究、創発的な多体現象、トポロジカル相、特殊な相転移、および非平衡ダイナミクスに焦点を当てた研究。

物性物理学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
海老原　孝　雄	教　授	希土類及び3d遷移金属間化合物の結晶育成と物性についての研究。新奇な物性を示しそうな物質の探索を行い、磁性と伝導・超伝導を含めた固体内の電子状態を研究する。
岡　　俊　彦	教　授	脂質や界面活性剤などの作る液晶相やタンパク質などの構造形成や物性などについての研究。X線回折法などに関連する新しい測定技術の開発。
阪　東　一　毅	教　授	半導体に関する光物性及び量子光学的研究。無機及び有機半導体結晶とそれらのナノ構造における電子励起状態を光で探る、またはその電子励起状態から生じる光そのものの性質を明らかにする研究。
清　水　康　弘	教　授	磁気共鳴を用いた巨視的量子凝縮系の微視的物性研究。
野　村　肇　宏	講　師	対称性や幾何学的フラストレーションに着目し、結晶中の新たな秩序状態を探索する研究。水和物やカイラル結晶を中心とした物質開発を行い、これまで着目されてこなかった化合物の磁性・誘電物性を探索する。
廣　部　大　地	講　師	スピントロニクスの考え方を取り入れて、ナノ量子物性を探索する。電荷・角運動量・熱輸送測定を中心に行い、電子輸送現象を無機・有機物質を問わず広く対象とする研究。

【化 学 コ ー ス】

物理化学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
岡　林　利　明	教　授	高分解能分光法を用いた短寿命分子種の物理化学的性質の研究。
河　合　信之輔	准教授	大規模な分子を効率よく記述できる座標系の研究。
松　本　剛　昭	准教授	高感度レーザー分光法による極低温分子クラスターの構造解明。

無機化学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
近　藤　　満	教　授	金属錯体を用いた機能性物質の合成と反応性に関する研究。
加　藤　知　香	教　授	金属酸化物クラスター・金属錯体・無機系細孔物質の合成、 構造解析及び触媒作用に関する研究。
守　谷　　誠	准教授	超分子の規則的な配列を利用した分子イオニクスに関する研究。
仁　科　直　子	講　師	金属ナノクラスター・金属ナノ粒子の合成、物性、触媒活性に関する研究。

有機化学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
塚　田　直　史	教　授	遷移金属錯体を触媒として用いた有機合成反応に関する研究。
関　　朋　宏	准教授	相転移・発光・刺激応答性を示す機能性の分子結晶の研究。

生物化学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
大　吉　崇　文	准教授	生体内における核酸と核酸結合タンパク質の構造依存的な機能の解明。

放射化学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
＊大　矢　恭　久	准教授	トリチウム等ベータ放射体と材料との化学的相互作用の速度論的メカニズム解明研究と核エネルギーシステムへの応用。
＊近　田　拓　未	准教授	先進エネルギーシステムにおける水素同位体の材料中の挙動解明と機能性材料開発。

【生物科学コース】

環境応答学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
粟　井　光一郎	教　授	光合成膜糖脂質の生理機能解析。光合成生物を利用した有用物質生産。光合成生物の環境応答機構の解明。
木　嵜　暁　子	教　授	植物の環境（光、温度、ストレスなど）への応答及び耐性メカニズムに関する分子生物学的研究。
徳　岡　　徹	教　授	被子植物の系統の解明。生殖器官に関する比較解剖学に関する形態形質の進化の解明。
天　野　豊　己	准教授	植物におけるタンパク質分解システムの研究。特に部位特異的突然変異法による反応素過程の解析、タンパク質分子のしなやかなモーションおよび緩やかかつ厳しい基質認識能の解析。
須　﨑　大　地	助　教	植物の生殖機構の研究。被子植物の生殖組織の発生学と雌雄間相互作用の解析。

生体調節学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
鈴　木　雅　一	教　授	動物の環境適応機構・内分泌系に関する分子生理学的研究。器官形成・ホルモン遺伝子発現機構の研究。
日下部　　誠	教　授	魚類の浸透圧調節能力の進化と多様性 － 魚類の塩分環境（海・河川）適応能力の獲得に関する研究。
石　原　顕　紀	教　授	分子生物学・バイオインフォマティクス的アプローチによる環境ホルモンの甲状腺系へ及ぼす作用機序解析。
岡　田　令　子	教　授	環境変化と生体内恒常性維持機構の生理・生化学的解析およびその進化。
伊　藤　　舜	助　教	島嶼における表現型進化に関する研究。小型動物、特に陸産貝類を対象に進化生態学的手法を用いる。

細胞・発生プログラム学

氏　　名	職名	研　　究　　内　　容
徳　元　俊　伸	教　授	魚類・両生類の卵母細胞をモデル系とした卵成熟・受精の分子メカニズムの解析。ステロイド膜受容体を介したノンゲノミック反応に関する研究。
道　羅　英　夫	教　授	ゾウリムシと核内共生細菌ホロスポラの共生系およびミドリゾウリムシと共生クロレラの共生系の成立機構に関する分子細胞生物学的研究。
雪　田　　聡	准教授	両生類における骨形成の分子メカニズムに関する研究。脊椎動物の骨組織の多様性に関する研究。免疫関連タンパク質が哺乳類の骨代謝に与える影響の解析。
小　池　　亨	准教授	肝臓形成に関わるシグナル伝達、組織間相互作用の分子メカニズムを、細胞培養や組織化学、遺伝子工学的手法を用いて解析する。
後　藤　寛　貴	講　師	昆虫における形態形成機構に関する研究。主にクワガタムシ、カブトムシなどの甲虫類を対象に、その特徴的な形態を形作るメカニズムを、分子生物学的手法を中心に解析する。

【地球科学コース】

地球ダイナミクス

氏　名	職名	研　究　内　容
石　橋　秀　巳	教　授	岩石学・火山学。特に、火山噴出物の分析および実験に基づく、マグマの物性・形成過程・噴火ダイナミクスの解明。
生　田　領　野	教　授	人工震源装置による地殻内部物性の能動監視。海底地殻変動計測システムの開発。
②川　本　竜　彦	教　授	水とマグマの関係、流体包有物の観察・化学分析、海水とマントルの反応、地球史における海水の化学組成史。
平　内　健　一	教　授	変形実験装置を用いた沈み込み帯プレート境界物質のレオロジー的性質の解明。
田　阪　美　樹	准教授	岩石鉱物物理に基づく天然岩石の分析、室内実験によるマントルかんらん岩のレオロジーの理解。
三　井　雄　太	准教授	広帯域の地表変形データ・物理モデリングなどに基づく、地球変動の研究。

生物環境科学

氏　名	職名	研　究　内　容
①北　村　晃　寿	教　授	化石・地質記録に基づく古地震・古津波に関する研究。
佐　藤　慎　一	教　授	二枚貝類の生態・古生態学。特に人為的影響による現生生物の変化に着目して、生態学的調査や観察などを通して化石生物の古生態を考察。
木　村　浩　之	教　授	海洋・温泉・地下圏の微生物生態学。物質循環、温暖化、エネルギー資源に関与する環境微生物の生理、生態、進化の解明。
宗　林　留　美	准教授	海洋における生元素動態の解明。海洋の炭素・窒素などの循環を物質の化学的性質とそれを廻る生物活動、海洋構造等から考察。
鈴　木　雄太郎	准教授	絶滅生物の古生態学、特に三葉虫の研究。現在生物における各器官の特徴、および外骨格とそれらの構造上の関係を、化石生物に応用して古生態を考察。
DUR Gaël	准教授	プランクトンの生態学。動物プランクトンの環境変化への適応的・進化的戦略。
久　保　篤　史	准教授	沿岸海域・陸水域における物質循環研究。特に、沿岸海域における二酸化炭素収支の解明。
LEGRAND Julien	講　師	花粉など微化石群集から古環境・古気候、堆積環境を考察。植生変遷、特に被子植物の初期進化過程の解明。

放射科学教育プログラムについて

放射科学教育プログラムとは、物理学、化学、生物科学および地球科学の各コースにおいて展開される履修プログラムのことで、それぞれの専門性に加えて、「放射科学」の幅広い知識をあわせもつ高度専門職業人を養成することを目的とするものです。すなわち、理学系研究分野のみではなく、他の分野においても必要となる新たな放射性核種や放射線利用法の開発、現代社会が抱える核エネルギー問題等に正当に取り組む基礎研究を行う能力の涵養等、社会の要請に答え、各分野で指導的立場になりうる人材を養成する教育プログラムです。

プログラムを受け持つ放射科学教育担当教員は、「理学専攻コース概要（教育研究項目）」１４～１５頁及び「理学専攻コース紹介（主要研究内容）」１６～２０頁の氏名に「＊」印を付しています。

プログラムの履修希望者は、出願コースに応じて以下の手順で手続きを行ってください。

＜化学コース出願者＞

(1) 放射科学教育担当教員へ出願前に連絡を取り、研究テーマ等について相談する。

(2) 入学願書の志望教員欄に放射科学教育担当教員の氏名を記入して出願する。

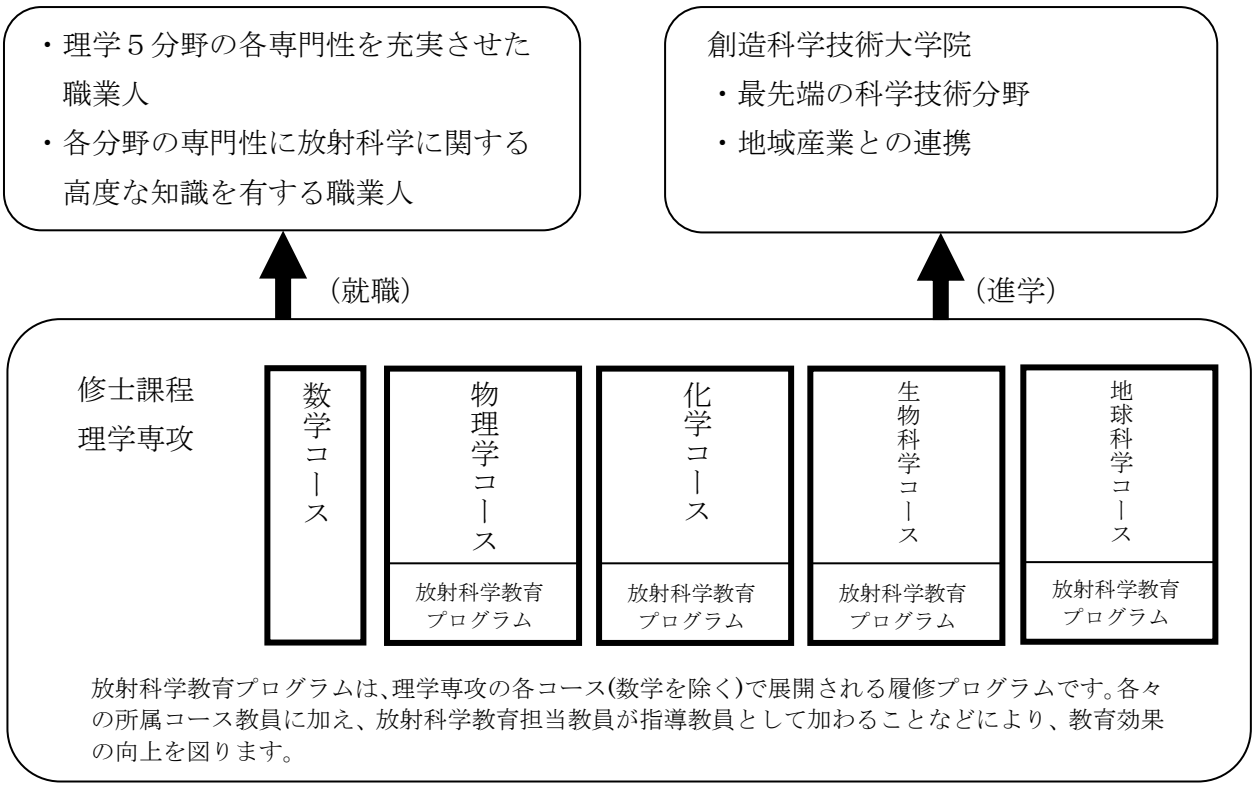
＜物理学・生物科学・地球科学コース出願者＞

(1) 放射科学教育担当教員へ出願前に連絡を取り、研究テーマ等について相談する。

(2) 出願コースのコース長（理学部学務係へ確認）へ出願前に連絡を取り、プログラムの履修を希望することを伝える。

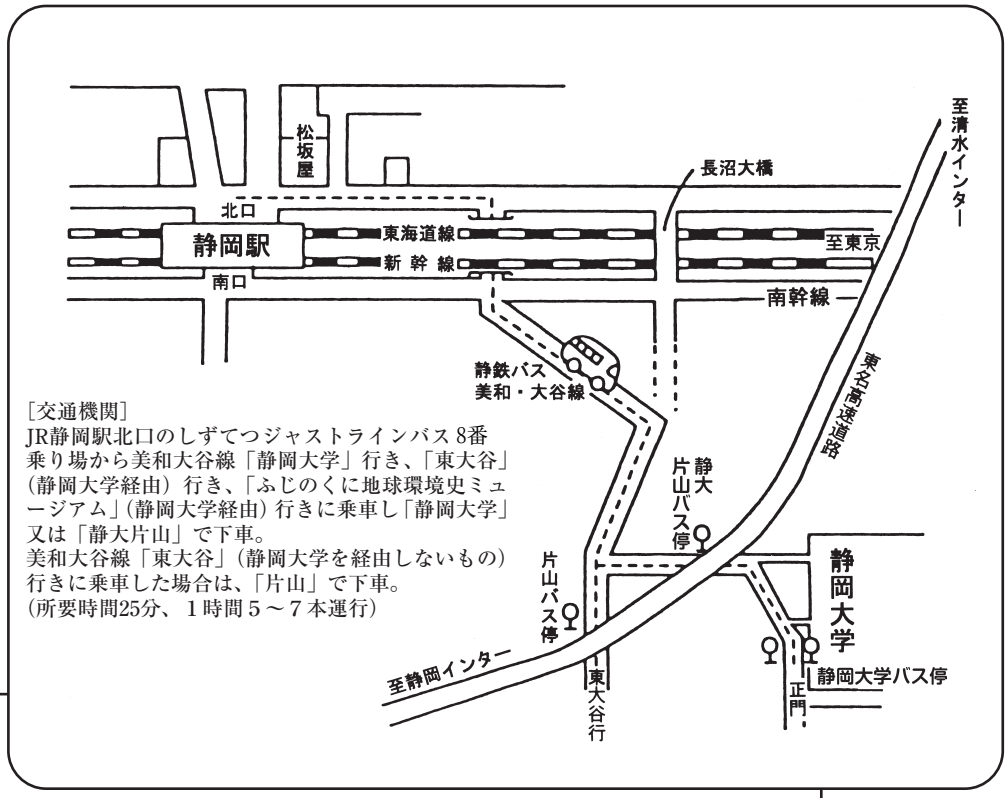
(3) 入学願書の志望教員欄にコース長の氏名を記入して出願する。

プログラムの履修希望者は、入学後に改めてプログラム履修の届け出を行います。主指導教員は、基本的に出願時に事前相談した放射科学教育担当教員が受け持つ形になります。



静岡大学静岡キャンパス案内図・建物配置図

東　京－静岡 ｝いずれも
名古屋－静岡 ｝新幹線で
約１時間



［交通機関］
JR静岡駅北口のしずてつジャストラインバス８番乗り場から美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷」（静岡大学経由）行き、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」（静岡大学経由）行きに乗車し「静岡大学」又は「静大片山」で下車。
美和大谷線「東大谷」（静岡大学を経由しないもの）行きに乗車した場合は、「片山」で下車。
（所要時間25分、１時間５～７本運行）



入学検定料の払込みについて

（1） 入学検定料　・・・・・　３０，０００円

（2） 同封の『払込取扱票』により、**郵便局・ゆうちょ銀行**（ゆうちょ銀行以外の銀行からは払込みはできません。）の**受付窓口**で払い込んでください。ＡＴＭ（現金自動払込機）は利用しないでください。

【注】① 払込取扱票の「ご依頼人」欄（３カ所）に住所、氏名等を、黒又は青色のボールペンで正確に必ず記入してください。

② 「振替払込請求書兼受領書」及び「振替払込受付証明書」（入学検定料受付証明書）を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際は、必ず、**日附印**の押印確認をしてください。（日附印の無い場合には、出願書類を受理しません）

③ 郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で、所定の払込手数料をご負担ください。

（3）この用紙の所定欄に氏名、志望コースを記入のうえ、**『振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）』**を貼り付けて、他の書類と一緒に提出してください。

【注】「振替払込請求書兼受領書」は、受験票を受け取るまで大切に保存してください。

切 り 取 り 線

受験番号	※記入しないこと

フリガナ	
氏　　名	

志望専攻	総合科学技術研究科 理学専攻
志望コース	コース

振替払込受付証明書

（入学検定料受付証明書）

入学検定料

30,000 円

証明書の金額、日附印の押印を確認のうえ、貼ること。

静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻（修士課程）入学願書

静岡大学長　殿

貴大学院総合科学技術研究科理学専攻(修士課程)に入学したいので、所定の書類を添えて出願致します。

出願年月日	令和　　年　　月　　日
受験番号	

試験区分	□ 学部３年次学生を対象とする入試			写真貼付欄 出願3ヶ月以内に単身撮影した上半身、無帽、正面向きのもの （縦45㎜×横35㎜）
ふりがな		性　別	※　男・女	
志願者氏名		本　籍（外国人は国籍）	※　都道府県	
生年月日	※昭和・平成　　年　　月　　日生			
出願資格	大学名　　学部名　　学科名 令和9年3月末日で大学学部3年以上在学見込み者(休学期間を除く)			

志願者現住所	ふりがな	電話	
	〒	携帯電話	
入試に関する連絡先	ふりがな	電話	
	〒	携帯電話	
	e-mail		
保証人氏名	ふりがな	本人との続柄	
保証人現住所	ふりがな	電話	
	〒	携帯電話	

志望コース	志望教育研究分野		教員名	教育研究項目記号
	第1志望			
	第2志望			
	第3志望			

【記入上の注意】　（2027年度）

1 「受験番号欄」は記入しないこと。
2 試験区分欄は該当する項目にチェックすること。
3 ※印欄は該当するものを〇で囲むこと。
4 第2志望・第3志望が無い場合は、各欄に斜線を記入のこと。
5 志望教育研究分野が上の行と同じ場合は「同上」と記入すること。
6 下記の受験票と裏面の履歴事項も記入すること。

静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻（修士課程）
（学部３年次学生を対象とする入試）

志願者氏名		受験票	受験番号	

志望コース	志望教育研究分野		教員名	教育研究項目記号
	第1志望			
	第2志望			
	第3志望			

（注）裏面の「受験者の心得」をよく読んでおくこと。　（2027年度）

履　歴　事　項

学　　歴（高等学校卒業以降を記入）	
年　　月　　日	高等学校卒業
年　　月　　日	入学
年　　月　　日	3年次在学
年　　月　　日	
年　　月　　日	
年　　月　　日	
年　　月　　日	
年　　月　　日	
職　　歴	
年　　月　　日	
年　　月　　日	
年　　月　　日	
賞　　罰	
年　　月　　日	
年　　月　　日	
年　　月　　日	

【記入上の注意】

1. 履歴事項は、記入漏れのないようにすること。
2. 職歴、賞罰欄に記載事項が無い場合は「なし」と記入すること。

受験者の心得

1. 筆記試験開始後30分以上の遅刻をした者は、原則として受験を認めない。
2. 筆記試験開始後1時間は、退出を認めない。
3. 筆記試験中、本票は試験監督者に見えるよう机上に置くこと。
4. 試験中、不正行為を行った者に対しては、受験を中止し、かつ、試験を無効とする。
5. 電話等による合否の問い合わせは、一切受け付けない。

静岡大学大学院
総合科学技術研究科理学専攻
静岡キャンパス：〒422-8529 静岡市駿河区大谷836　静岡大学理学部学務係
TEL 054-238-4861　FAX 054-237-9895